第201回 秋津ホームヘルパーステーション

H28年3月19日（土）

合同研修会

『ご利用者を守る介護』

～安楽を提供する介護技術とは～

想像してみても分かる
と思いますが・・・

紙おむつ体験
目的　排尿時の不快感やオムツの吸収性を体験する
方法　紙おむつに水分を吸収させて着用してみる
体験談　濡れてて気落ち悪い。
歩行しにくい。
座ると漏れそうでとても座りづらい。
着けているだけで不安。
しばらくすると・・・肌への感触はサラサラになってきたが、重いまま。
吸収して、利用者の肌を守ってくれている。
指導内容　紙おむつの構造の説明を行いました。排尿量や体型や姿勢により現場で漏れないように紙おむつを当てる工夫の講義をしました。この工夫もご利用者の自尊心を守るための介護技術であることを理解していただきました。

高齢に伴う障害の疑似体験
目的　不自由な日常生活や恐怖や不安を体験する
方法　錘や視野狭窄眼鏡、耳当てをつけて障害を体感
体験談　思うように動けず、ゆっくりしか歩けない。
周囲のことがわからず、不安や恐怖がある。
安全に的確に誘導することが難しかった。
指導内容　利用者の立場に立って行なう介護する側の声掛けの方法や立ち居地などを再確認しました。

今回体験していただき、日ごろの介護技術の振返る機会にもなりました。今後もご利用者の自尊心を守ることや、安全な日常生活を守るための介護の工夫がご利用者のQOLを高めることにつながればと思っています。